

山野草で楽しむ 西都原古墳群の四季

西都原古墳群には、広大な花の景色だけではなく、足元にひっそりと咲く山野草も魅力のひとつです。山野草と触れ合いながら、西都原古墳群の季節を感じてみませんか？

発行：指定管理者 一般財団法人みやざき公園協会



オオイヌノフグリ

別名 —
開花時期 3月 自生場所 全地区

道端や畑で良く見られる。絨毯を敷いたように広がり花が散りばめられたようにたくさん咲く。



コナスビ

別名 —
開花時期 4月 自生場所 全地区

平地から山地まで広く見られる。ナスに似た果実をつける。



ハルジオン

別名 ハルジョオン
開花時期 4月 自生場所 A地区

春に開花し都会、里山で多く見られる。茎の中がからっぽになっている。



ノアザミ

別名 コアザミ
開花時期 4月~5月 自生場所 全地区

春咲きアザミで野原などで見られる。葉のふちに鋭いとげがある。



ホトケノザ

別名 サンガイクサ
開花時期 3月 自生場所 B地区

葉のつき方が仏像の台座に似ていることが名前の由来。道端で見られる。



フデリンドウ

別名 —
開花時期 3月 自生場所 A地区

日当たりのよい山地の雑木林や草地で見られる。つぼみの様子が墨汁を含んだ筆の穂先の様に見えることが名前の由来。



アマナ

別名 —
開花時期 3月 自生場所 A地区

球根が食用となり甘いことが名前の由来。日当たりのよい草地や田んぼの畔に生える。



シロツメクサ

別名 クローバー
開花時期 4月 自生場所 全地区

一般的にクローバーと呼ばれるもの。割れ物のクッション材として使われていたことが名前の由来。



ミヤコグサ

別名 エボシグサ
開花時期 4月 自生場所 B地区

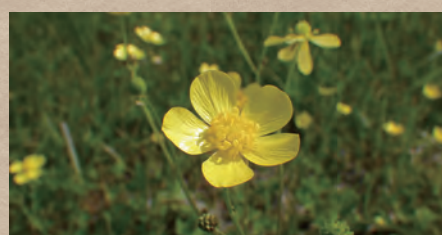
道端、空き地、海岸などで見られる。烏帽子に似ていることが名前の由来。



チガヤ

別名 チ、ツバナ
開花時期 4月 自生場所 全地区

山野の空き地や、道端で多く見られる。



ウマノアシガタ

別名 キンポウゲ
開花時期 4月 自生場所 全地区

日当たりの良い山野に見られ、5枚の花弁には光沢がある。



マツバウンラン

別名 —
開花時期 4月 自生場所 全地区

空き地、草地などで見られる。



サギゴケ

別名 ムラサキサギゴケ
開花時期 4月 自生場所 A地区

田んぼの畔に群生し、苔のように地面に広がる。



タツナミソウ

別名 —
開花時期 4月 自生場所 全地区

里山などで見られる。葉が小さいものはコバノタツナミと呼ばれる。



ヘビイチゴ

別名 —
開花時期 5月 自生場所 全地区

日当たりのよい野原、道端で見られる。名前の由来は果実を蛇が食べるなどからだが実際には蛇は食べない。



ヒメジョオン

別名 アメリカグサ
開花時期 5月 自生場所 A地区

ハルジオンより遅れて初夏に開花する。茎の中身が白く詰まっている。



キラソウ

別名 ジゴクノカマノフタ
開花時期 4月 自生場所 A地区

山野の草地で見られる。古くから民間薬として使われていた。



ジシバリ

別名 イワニガナ
開花時期 4月 自生場所 A地区

道端、草地、生垣等で良くみられる。



ニガナ

別名 —
開花時期 4月 自生場所 全地区

山野から空き地まで見られる身近な野草。葉や茎を傷付けると白い乳液がでて苦みがある。



コメツブツメクサ

別名 キバナツメクサ
開花時期 5月 自生場所 A地区

道端、公園などで見られる。長さ3mm程の黄色い小花が5~20個集って一つの花に見える。



ニワゼキショウ

別名 ナンキンアヤメ
開花時期 5月 自生場所 A地区

道端、草地で見られる。花は次々に咲くが、1日でしぼむ。



ヒメヒオウギ

別名 —
開花時期 5月 自生場所 B地区

日本へは大正時代に観賞用として導入された。赤以外にも白などがある。



ムラサキカタバミ

別名 —
開花時期 5月 自生場所 B地区

道端、人家まわりなどで群生する。江戸時代末期に鑑賞用として渡来したといわれる。



スイバ

別名 スカンポ
開花時期 6月 自生場所 A地区

草地や田んぼ近くでよく見られる。生でかじると酸っぱい。



ネジバナ

別名 モジズリ
開花時期 6月 自生場所 C地区

日当たりのよい草地で見られる。花がらせん状にねじれながら咲く。



ヨメナ

別名 —
開花時期 10月 自生場所 C地区

田の畔や水辺などに生える。ノコンギクなどとともに「野菊」と総称される。



ヨウシュヤマゴボウ

別名 アメリカヤマゴボウ
開花時期 10月~11月 自生場所 A地区

紅紫色の茎にブドウの様に垂れ下がった果実が房状になる。空き地や道端に生える。



カラシナ

別名 セイヨウカラシナ
開花時期 2月 自生場所 C地区

花はアブラナに似ているが全体的にやや小さい。種子からからしが作られる。



カヤツリグサ

別名 トンボグサ
開花時期 6月 自生場所 全地区

畑や田んぼ近くでよく見られる。花は花火のように分かれた茎の先につく。



キツネノカミソリ

別名 —
開花時期 8月 自生場所 B地区

丘陵や山地などの肥沃な土地に生える。葉の形を剃刀に例えて名付けられた。



ツルボ

別名 サンダイガサ
開花時期 9月 自生場所 C地区

山地の日当たりが良いところで見られる。昔凶作の時に球根が食用として利用された。



スミレ

別名 マンジュリカ
開花時期 2月 自生場所 全地区

高山から人里まで広く見られる。花の形が木工道具の「墨入れ」に似ていることが名前の由来。

参考:「色で見分け五感で楽しむ野草図鑑」(監修:藤井伸二 著:高橋修)
「みんなの趣味の園芸」(NHK出版)
「山溪ハンディ図鑑1 野に咲く花 増補改訂新版」(監修:林弥栄 改訂版監修:門田裕一)

お問合せ先

特別史跡公園西都原古墳群管理事務所 〒881-0005 西都市大字三宅西都原 5670

TEL 0983-42-0024 FAX 0983-42-0242 Email saito@mppf.or.jp

その他の花情報や公園のイベント情報などを発信しています!

HP <http://mppf.or.jp/saito/>

西都原古墳群 検索



オヒシバ

別名 チカラグサ
開花時期 9月 自生場所 全地区

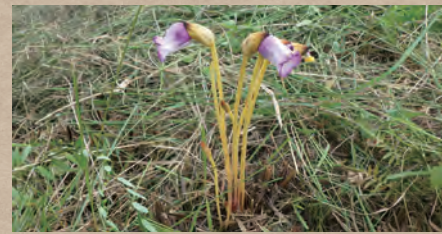
道端、草地でよく見られる。メヒシバに比べしっかりした印象が名前の由来。



ツクサ

別名 ボウシバナ
開花時期 10月 自生場所 全地区

道端や田んぼのあぜ道に生える。



ナンバンギセル

別名 オモイグサ
開花時期 10月 自生場所 C地区

花の姿が煙管に似ていることが名前の由来。寄生植物でススキなどから栄養分を吸収している。



ハッカ

別名 メグサ
開花時期 10月 自生場所 C地区

草全体に清々しい香りがある。この香りを取り出したものがハッカ油となる。やや湿った草地や林に生える。



サイヨウシャジン

別名 —
開花時期 10月 自生場所 A、C地区

花が壺の形をしている。野山や高原で見られる。



コツブキンエノコロ

別名 —
開花時期 10月 自生場所 C地区

田のあぜ道や道端、草地などやや湿ったところで見られる。よく似ているキンエノコロよりも小穂がやや小さく、毛は紫褐色。



西都原古墳群 エリアマップ